

LCMSsolution バージョン 2.04 アップデートディスク説明書

(株)島津製作所 分析計測事業部

1. はじめに

このアップデートディスクには LCMSsolution バージョン 2.00、2.01、2.02、もしくは 2.03 をバージョン 2.04 にアップデートするモジュールが含まれています。下記の「アップデート方法」の手順でファイルを更新していただくことで LCMSsolution を最新の環境でご使用していただくことができます。

2. アップデート方法

- (1) はじめに LCMSsolution のアプリケーションをすべて終了させてください。
- (2) フロッピーディスクをお使いの場合は、アップデートディスク 1/9 をフロッピードライブに挿入し、フロッピー内の Setup.exe を実行してください。CD-ROM やハードディスク内にアップデートディスクのイメージが展開されている場合は、“DISK1”フォルダ内の Setup.exe を実行してください。セットアップ画面が起動しますので「次へ」ボタンをクリックするとセットアップが開始されます。
- (3) フロッピーディスクをお使いの場合は、画面の指示に従ってフロッピーディスクを交換し、セットアップが終了したらフロッピーディスクを取り出します。アップデートディスクのイメージをお使いの場合は、自動的にセットアップが完了します。
Windows を終了し、PC と MS の電源をいったん切ってください。再度 PC と MS の電源を入れ、Windows を起動してください。
- (4) LCMSsolution を起動させて、「装置」メニューの「診断」を選択してください。診断画面が表示されますので、「ツール」メニューの「プログラムチェック」を選択してください。「プログラムの改ざんチェック」ウィンドウが表示されるので、そこで「実行」ボタンをクリックします。結果が「改ざん無し」と表示されれば完了です。

<ご注意> 本アップデートディスクは LCMSsolution バージョン 2.00(または 2.00 Su1、2.00 Su2、2.00 Su3)、LCMSsolution バージョン 2.01(または 2.01 Su1)、LCMSsolution バージョン 2.02(または 2.02 Su1)、もしくは LCMSsolution バージョン 2.03 がインストール済みであることが前提になっています。他のバージョンからはアップデートを実施できません。

以上ご不明な点がございましたら弊社「島津分析コールセンター」までお問い合わせください。
[東京(03)3219-1691 または 京都(075)813-1691]

3. LCMSsolution Ver2.00 Su2 で修正された不具合の一覧

分類	修正された不具合内容
装置制御	長期間真空を引かずに置いていた MS を、自動起動しても真空度が 2E-5Pa を下回らない時がある。
	APCI インターフェースの場合、分析を開始したときにプローブに電圧がかかっておらず、かつネブライズガスが流れていないときには、プローブ保護のためネブライズガスを流しはじめてから 5 秒程度待ってから電圧をかけるようにした。
	[LCMS-2010] 電源周波数が 50Hz の地域で、ブロックヒータの温度コントロールが正常に行われない。
	[LCMS-2010] m/z 1200 を超える質量数範囲をマルチシーケンスモードで分析したとき、クロマトグラムが正常に採取できない。
	[LCMS-2010] Q-Array 保護のため、印可できる電圧を-150V から 150V であったのを-80V から 80V に制限した。
LCMSsolution メイン	ステータスビューの「分析モード」の文字列が上付きになっている。
	PDA 検出器を使用している場合、UV 検出器が接続されていないとクロマトグラムの画面でスクロール表示できない。
ポストラン	PDA 検出器のデータがあるとき、スペクトル処理テーブルをクリックしたときに表示されるスペクトルが、バックグラウンドサブトラクトされていない。
	化合物テーブルの Band 幅の設定単位が秒になっている。分単位に修正した。
	化合物テーブルに行が追加されると、Band 幅に"Default"の文字が出る。
	エクスプローラのオプションで、拡張子を表示するモードにしておかないと、ファイルを開くダイアログボックスで TIC のプレビューができない。
	LC 用の化合物テーブルを新規に作成すると、アプリケーションエラーが発生する。
	プライベートライブラリを使ってシミュリティ検索をしたとき、ヒットしない化合物がある。プライベートライブラリの成分数が 256 を超えていたときに発生する。
	データを読み込む毎にウィンドウの配置がずれる。
	PDA マルチクロマトグラムの ASCII 変換をした場合、強度情報しか変換されない。
	[LCMS-2010] マルチシーケンスモードで採取したクロマトグラムを ASCII 変換したときは、最初の一ポイントしか変換されない。
	メソッド作成
[LCMS-2010] MS パラメータの画面において、質量数に 10 未満が入力できる。	
[LCMS-2010] MS パラメータの画面で、グループを追加した直後にメソッドファイルを保存するとアプリケーションエラーが発生する。	
[LCMS-2010] MS パラメータの画面で、スキャンスピードが表示されていなかった。	
レポート	ポストランからレポートを開け、レポートテンプレートをエクスポートしたとき、レポートをいったん閉じないとエクスポートしたファイルをレポートで読み込めない。
	LC クロマトグラムの出力で、縦軸に同じ数字が印刷される。
	サマリーレポートで、アプリケーションエラーが発生することがある。
	MS スペクトルの印刷で、全体のフォントとマスラベルのフォントが同じ時に、正しくフォントが設定されない。
	MS スペクトルの印刷で、保持時間を直接指定して印刷するとアプリケーションエラーが発生する。
	[LCMS-2010] メソッドダンプのレポートで、ヒートブロックの温度と、プローブ電圧の値が間違っ て出力される。

4. LCMSsolution Ver2.00 Su3 で修正された不具合の一覧

分類	修正された不具合内容
装置制御	[LCMS-2010]グループ1のMSデータ採取で、Q-Array電圧が常に10Vで出力される。 ただし、マルチシーケンス分析(ポジティブ・ネガティブスイッチ)を行っている場合や、MSパラメータ画面でQ-Array電圧に電圧スキャンを選択しているときは、正常に動作します。 フラクションコレクタにおいて、ユーザ定義ラックを使用するときに、SCL-10Avp側でティーチングを行っているにもかかわらず、最終バイアルが使用できない。
LCMSsolution メイン	[LCMS-QP8000 / QP8000]MSクロマトグラム上にm/z0の凡例が表示されることがある。 [LCMS-QP8000 / QP8000]MSクロマトグラムの表示倍率を変更しても、次の分析時に1に戻ってしまう
メソッド作成	PDA分析パラメータの時間の開始時間に0.01を入力して画面を閉じ、また開くと、0.00998333という表示になる。

5. LCMSsolution Ver2.01 で修正された不具合の一覧

分類	修正された不具合内容
LCMSsolution メイン	スケジュールテーブルのコメントをコピー、ペーストするとコメントの2行目以降がペーストされない。 ランプバーを非表示にすると、再び表示できない。 PDAプロット中にデイルストップを実行するとアプリケーションエラーが発生する。
ポストラン	ポストランのバッチ処理で、エラーが煩雑に表示されるので中止ボタンが押せない。 検量線を拡大できるようにした。 定量計算法が内部標準法の場合、検量線が正常に引けない。 定量計算法が内部標準法のときに、LCの検量線ビューで定量値の補助線が描けない。 UVクロマトグラムが登録されていないデータファイルでは、LC分析パラメータが他のメソッドファイルへエクスポートできない。 マルチシーケンス分析したデータのS/N計算ができない。
プロファイルポ ストラン	データファイルの保存を2回行くと、2回目の保存ができていない場合がある。 画面上の3つのプロファイルスペクトルを一度に初期化できない。
メソッド作成	[LCMS-2010] MS波形処理タイムプログラム画面で、マルチシーケンス分析したクロマトグラムを参照用に読み込むことができない。
レポート	LCMSポストランからレポートを起動したときのウィンドウのサイズが大きく表示されるように変更し、また位置を記憶するようにした。 LCMSポストランからレポートを起動したとき、レポートフォーマットがエクスポートできない場合がある。 LCMSポストランからレポートを起動してレポートフォーマットを読み込んだとき、そのレポートフォーマットを修正後データファイルに保存すると、読み込み元のレポートフォーマットファイルも変更されてしまう。 LCポンプのMax Pressureを印刷すると、常にkgf/cm ² で出力される。 サマリレポートアイテムでデータファイルを選ぶときに、選んだ順に登録されない。 MSとLCのクロマトグラムアイテムを同じ大きさにしても、時間がずれてしまう場合がある。

6. LCMSsolution Ver2.01 Su1 で修正された不具合の一覧

分類	修正された不具合内容
LCMSsolution メイン	スケジュール分析中に大量の印刷すると、システムリソースが足りなくなる場合がある。 メソッドにネブライズガス流量が0mL/minで設定されている場合、分析を行うとアプリケーションエラーが発生する。メソッドダウンロードの時は発生しません。
オートチューニ ング	[ONLY LCMS-2010] 送液ポンプをSCL-10Avpに接続していないと、オートチューニングの途中でエラーがでる。
PDA キャリブレ ーション	D2/Ho波長チェックを実行すると、波長ずれ幅が大きいにもかかわらず判定をパスする時がある。

7. LCMSsolution Ver2.02 で追加された機能、修正された不具合の一覧

分類	追加された機能と修正された不具合内容
LCMSsolution メイン	島津製オートサンブラ SIL-HT のサポートを行いました。
	LC と MS の分析時間が同じにもかかわらず、分析開始時に分析時間が異なっているとメッセージが表示される場合がある。
ポストラン	ハードディスクに 4Gbyte 以上の空き容量がある場合、空き容量が間違っ表示される。
	MS 保持時間補正の設定を行っている、フラクションコレクタの分取マークがクロマトグラムとずれて表示される。
レポート	サマリレポート(濃度)で、プロパティ設定でタイトルを消すと、印刷結果が乱れる。
	複数のグループで分析を行ったデータの定量グラム(クロマトグラム)が印刷されないときがある。
	MS 波形処理パラメータを出力しても、スムージング方法が印刷されない。

8. LCMSsolution Ver2.02 Su1 で追加された機能、修正された不具合の一覧

分類	追加された機能と修正された不具合内容
LCMSsolution メイン	読み取り専用設定されているスケジュールファイルを読み込めるようにしました。
	[ONLY LCMS-2010] 広い質量数範囲を設定してスキャンモードでデータ採取を行うと、不定期にアプリケーションエラーが発生する。
	[ONLY LCMS-2010] MS パラメータの設定画面で、SIM からスキャンに切り替えた直後、スキャンスピードが0で表示されるときがある。
	データ採取中 LC プログラムを使ってバルブを切り替えている時に、LC 分析パラメータのその他のユニット画面を開くと、バルブが切り替わってしまうことがある。
	ASCII 変換をする際、ASCII ファイル名に連番を付ける設定にすると、スケジュール毎の出力が出来なくなる。ポストランでのスケジュールも同じ現象が発生していました。
ポストラン	MS の同定結果画面で、誤同定した結果を削除できるようにしました。
	検量線情報画面で検量線を修正した後、画面を閉じずに検量線を更新できるようにしました。
	[ONLY LCMS-2010] ポジティブ・ネガティブの切り替えのようなマルチシーケンス分析を行ったデータで、スペクトルの平均を行うと、スペクトルピークの絶対強度が間違っ表示、印刷される。
	スペクトルを平均するとき、保持時間の大きい方から小さい方へドラッグすると平均できない。
	MS Compound Table で波形処理タイムプログラムのシミュレートができない。
	LC の定量計算時、隣り合う化合物の同定幅が重なっている場合に誤同定をするときがある。
	化合物テーブルの保持時間に2分程度の値を入れると、化合物テーブルが編集モードからビューモードに切り替わらないことがある。
プロファイルポストラン	[ONLY LCMS-2010] ネガティブのプロファイルデータの場合、表示されているプロファイルスペクトルのマス軸がずれることがある。
レポート	PDA ピークレポート印刷で、Area%とHeight%が出るようにしました。
	MS・LC 検量線レポートで、ポストランで無効にしているレベルの濃度 - 面積値と、無効にしているレベルの濃度 - 面積値とが同じように印刷されるため、見分けがつかない。無効にしたレベルの面積値の先頭に、アスタリスク(*)を付けるようにしました。
	ファイルメニューから印刷を行った場合に、ページを指定して印刷できるようにしました。
	複数のデータファイルのMSクロマトグラムとMSピークレポート、もしくはUVクロマトグラムとUVピークレポートを一度に印刷できるアイテムを追加しました。
	MS スペクトルの出力で、ヘッダー情報の極性が常に Positive で印刷される。
	サンプル量の桁数がスケジュールでの表示とサンプル情報印刷で違う。

9. LCMSsolution Ver2.03 で追加された機能、修正された不具合の一覧

分類	追加された機能と修正された不具合内容
LCMSsolution メイン	分取システム用 S/W PsiPort-MDAP のサポートを行いました。
ポストラン	表示スペクトルのライブラリへの登録、もしくはスペクトル処理テーブルからライブラリへの登録を行う際に、登録を行うスペクトルのピーク強度の大きなものから50 本の中に、質量数255の倍数の位置に相対強度0.4%未満のスペクトルピークが存在すると、そのピーク以降の質量数が間違っていて登録される。
	クロマトグラム分画マークの分画開始間と終了時間が同じ場合、画面上のハッチのかけ方がおかしくなる。
	波形処理タイムプログラムのシミュレートでクロマトグラムにスムージングがかかっている。
プロフィールポストラン	デコンボリューションするとアプリケーションエラーが出る場合がある。
ライブラリ編集	登録数256 スペクトル以上をもつプライベートライブラリで、なおかつ化合物情報編集画面に「検索対象外」に1つでもチェックが入っている場合、「ファイル」メニューの「検索対象外化合物の抹消」コマンドを選択すると、登録番号256 以降の登録スペクトルを壊してしまう。「検索対象外」にチェックが全く入っていない場合はライブラリを壊すことはありません。
レポート	ヘッダー、もしくはフッターにバージョン番号を印刷すると、レポートファイルの編集時にアプリケーションエラーが発生することがある。
	クロマトグラムサマリアイテムにピークテーブルを印刷した場合、テーブル内の印刷順序が変更できない。
	LC クロマトグラムアイテムの強度軸範囲の設定に小数点以下の数値が入力できない。
	定量のピーク検出で同定されていない化合物は、定量結果印刷でクロマトグラム、質量数、タイプ、化合物名などが印刷されない。 同定されていない場合も、これらの情報は出力するようにしました。

10. LCMSsolution Ver2.04 で追加された機能、修正された不具合の一覧

分類	追加された機能と修正された不具合内容
LCMSsolution メイン	LCMS-2010A のサポートを行いました。
	総スキャン数が 64,000 点を超える長時間の分析ができない。
レポート	[ONLY LCMS-2010] マルチシーケンスモードのとき、MSスペクトルのヘッダー情報中の分析モード出力結果が間違っている。